

新 緑

No.98号 日本共産党高取支部

2017. 8

なんでも相談

子育て・介護・その他困っている事等、気軽にご相談ください

高取町議会議員 新沢あけみ

0744-52-4408

ホームページ

<http://jcp-takatori.sakuraweb.com/>



平成29年8月2日

高取町議会

議長 新澤 良文 様

日本共産党

高取町議会議員 新澤 明美

「住民に開かれた民主的な議会運営」についての申し入れ

大暑の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、昨今住民の皆さんから、「議会や町は、何をしているのかわからない。」という声が沢山寄せられています。まず、議会が本来の役割を再確認し、住みよい町づくりにさらに尽力していくことが必要ではないかと考えます。そこで、住民に開かれた民主的な議会運営について、以下の申し入れをします。

1. 地方自治法に基づき、公平・公正な議会運営をすること。
2. 町政を監視する役割を担う議会は、常に執行機関と緊張感のある関係を構築すること。
3. 住民の利益を守るために、公の場で徹底した議論を尽くすこと。
4. 理事者と特定業者の癒着を許さず、議員自らも清潔を貫くこと。
5. ホームページへの議会議事録掲載・議会のネット中継・議会だよりの充実で、町政や議会について情報を発信すること。
6. 住民との意見交換の場として、議会主催のタウンミーティングの実施をすること。
7. 議会改革を推進させる検討委員会を設置すること。

以上

議会の役員が決まる

改選後の臨時議会が7月24日に開催され、役員が決まりました。

議長 新澤議員、副議長 米田議員、総務経済建設委員長 森下議員、同副委員長 川西議員、教育厚生委員長 松川議員、同副委員長 野村議員、議会運営委員長 森下議員、同副委員長 安田議員、監査委員 松川議員です。

議長選挙においては、会派を作らずは々非々で議会へ臨むために、新

沢あけみ議員は立候補し、結果は7票対1票でした。委員会の役員は、正副議長に一任されています。新沢あけみ議員は、新議長に「住民に開かれた民主的な議会運営について」申し入れをしました。



「核兵器禁止条約」国連で採択

ニューヨークで開催されていた国連会議で、7月7日、核兵器を違法化する条約が122の加盟国の賛成で採択されました。日本からの会議への参加は、被爆者や市民団体、政党では日本共産党だけでした。核保有国や同盟国そして日本政府は、条約反対の意思表示をしています。

原水爆禁止世界大会に参加



広島、長崎に原爆が投下されて72年目の夏、原水爆禁止世界大会が8月3日から9日まで、広島市と長崎市で開催されました。今年度は、「核兵器禁止条約」が7月7日に国連で採択され、核兵器のない世界へ一歩踏み出す歴史的な大会でした。世界大会には、被爆者・国連代表者・各国代表者・各国反核平和運動代表者・日本全国の反核平和運動に取り組んでいる人々が参加し、「ヒバクシャ国際署名」運動をはじめ、多彩なテーマで分科会がもたれ、交流

し、連帯を確認しました。新沢あけみ議員は長崎大会に参加し、7000人（海外代表95人）の参加が報告されています。

あけみ日誌



実家の母の米寿のお祝いをしました。ひ孫が走り回り、みんなが代わるがわる母の耳元で大きな声で囁く？母はひ孫を膝に乗せてもらってニッコリ。久しぶりに賑やかで楽しいひと時を過ごしました。原水爆禁止世界大会（長崎）に参加しました。参加者の確信を持った発言と会場いっぱい広がる人間愛に圧倒されました。9月7日から町議会が始まります。新沢あけみががんばります。これからもどうぞよろしくお願います。

世界大会—長崎の発言から



日本の被爆者

これまで何のために生きているのかと考えてきたが、今、生きている意味ができた。

田上富久 長崎市長

10年前から禁止条約の声を上げていたが暗い闇の中でであった。条約採択の源流は被爆者にあり、私たちに大きな勇気と力を与えてくれました。生まれたばかりの条約を支持する声を大きくしていこう。

中満泉 国連軍縮担当上級代表

核保有国および同盟国には、軍縮への具体的ステップを真剣に考えて頂かなければならない。

マルチン・クリューガー オーストリア外務省軍縮軍備管理不拡散局次長

偶発的、意図的どんな形にせよ使用されれば、人類を破滅させる。そこに条約の意味がある。

ジム・アンダーソン 米ピースアクションニューヨーク州会長

集会で意見を言う、選挙で投票する、ひとりひとりができることから始めよう。

ハンナ・トゥエッデル 英核軍縮キャンペーン副議長

イギリスでもメディアがまともに報道しない。SNSや街頭でビラをまいている。

高草木博 原水爆禁止日本協議会代表理事

被爆の実相を世界にも日本の国民にも知らせ、核兵器廃絶の先頭に立つ政府に変えよう。

大会へ国民平和行進が集結

今年も全国をつなぐ

原水爆国民平和行進が実施され、世界大会に集結しました。高取町では、6月29日に行進団と新沢あけみ議員が植村町長、浅井議長と懇談をし、ペナントへの署名とヒバクシヤ国際署名を頂き、長崎会場まで持参しました。

「ヒバクシヤ国際署名」を

数億の規模で

国際署名

ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶
被爆者は核兵器廃絶を心から求めます。

人類は今、破滅への道を進むのか、命輝く青い地球を目指すのか岐路に立たされています。

訪問の際には、署名へのご協力お願いします。
ネットの見本を利用することもできますので、ご連絡頂ければ、伺います。

「ヒバクシヤ国際署名」の申し込み用紙のスクリーンショット。表には「氏名」と「住所」の欄があり、下部には「署名のお願い」と「お問い合わせ先」の情報が記載されている。

